

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和4年度

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースの確保はできており、障害特性に応じて受け入れ時に配慮やパーティションで区切るなど環境調整を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		定員10名に対し、1日7名程度のスタッフで運営しています。支援分担当表を作成し見える化することで無理のない支援体制を整えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		構造上はバリアフリーに整備されており、情報の視覚化をして様々な障壁に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		支援終了後には振り返りを行い、改善策を検討しています。休暇などで参加できない職員はICTを活用して情報共有に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		課題と感じられる項目を全体で共有し改善しています。改善案を踏まえた集計結果を各ご家庭に配布しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページで公開し、保護者への周知を行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者評価においては法人内事業所で順番に実施しており、今後、夕凧でも実施する予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		年間計画に沿って希望した研修の参加を行っています。リモートで法人内外の研修を積極的に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		定期的なモニタリングや各機関との連携を行い、計画の作成にあたっています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		法人で統一したアセスメント表を使用しており、成長に応じて変更を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		ケース会議や職員会議などを通して、個々のプログラムや集団のプログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		特性や成長の変化に対応したプログラムを提供しています。変更や中止の練習も兼ねてプログラムの固定化を防ぐ工夫をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>		利用時間に応じて活動プログラムを変更しています。季節ごとのイベント開催や法人内外のイベント参加をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>		特性や発達段階に配慮して個別活動が中心となっています。利用時間の長い日などは、適宜組み合わせを行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		その日の役割分担表を作成し、支援の変更点があれば支援前に確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		支援終了後にはミーティングを行っています。リアルタイムで問題解決を図り、情報共有アプリで周知しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		日々の様子を日誌へ記入し、必要であれば改善を行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		各関係機関と連絡をとりながら、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		個別ニーズを考慮したうえで、活動を組み合わせ提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に、主に支援する担当者も併せて出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校とは随時連携をとり、計画的に受け入れができるよう調整するなど、連携をしています。ご家族を通して確認することもあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在該当児はいませんが、必要に応じて連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援専門員を通じて情報収集を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行支援会議やケア会議を通して連携し、情報を提供しています。法人内であれば密に連携を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		医療機関や基幹相談支援センターとの連携や、年4回のコンサルテーションを活用して、助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		地域行事や公園などで交流することはあります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		発達支援部会や放課後デイサービス連携、月1回の子ども部会に可能な限り参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		申し送り時には、その日の活動の様子や状況をお伝えしています。送迎の方は連絡カードなどを活用し共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	今後ペアレントトレーニングに力を入れていく予定です。ご相談の中で関わり方を伝えたり、理解を深めていただくようなお話をしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明をし、質問などあれば、その場でお答えしています。変更事項には文書を作成してお伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々のやりとりから悩み等を伺い、助言、支援や他機関に繋ぐなど必要な支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	今年度も新型コロナの影響で開催していません。感染状況やご家庭の状況を見ながら、開催方法を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置し、担当を中心に対応している。窓口の説明を顔写真つきでわかりやすく文章で掲示しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年3回広報誌を発行しています。ホームページにも活動内容を掲載するなど、必要な情報をお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関わる書類などは鍵がかかる場所に保管しています。広報誌などで写真を掲載する場合には、保護者の同意をいただくようになっています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	障害特性に合わせた配慮を行っています。(イラストや写真、文書など)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	お祭りやイベントなど法人での行事を定期的に企画し、地域の方を招待しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	マニュアルを策定し、職員間で周知しています。契約時には、保護者への説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	避難訓練を年2回、災害時避難訓練を年1回行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	外部研修への参加と、年1回法人での権利擁護研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	現在該当児はいませんが、必要の場合には、マニュアルに沿って適切に行うこととしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	現在該当児はいませんが、食物アレルギーのある児童には医師の指示書を基に給食等の食事の提供を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットがあった際は、職員会議で周知と改善を行っています。また、ICTを活用していつでもヒヤリハットの確認が行えるようにしています。